

2級第 17 回検定の結果・分析（前回との比較）

【結果】

- 申込者数が、学科は 470 人 (27.6%) 減少して 1,236 人、実技は 91 人 (3.7%) 増加して 2,541 人となり、合格者は学科合格が 480 人減少して 775 人、実技合格が 15 人減少して 388 人となった。その結果、試験種別の合格率が、学科は 10.95 ポイント低下し、実技が 1.18 ポイント低下した。
- 総合合格者が前回より 92 人減少して 391 人となり、総合合格率が 13.1%（前回 15.9%）となった。
- 受検資格別の申込者数では、①実務経験 5 年以上が 28 人増加して 1,915 人（全体の 64.3%）となった。受検資格別の総合合格率は、①実務経験 5 年以上が 13.1%（合格者数 250 人）、⑤標準資格者 & 実務経験 3 年以上が 14.5%（合格者数 123 人）などであった。
- 性別の申込者では女性が 16 人減少して 1,754 人、男性が 50 人減少して 1,226 人となり、申込者の男女比は 41 対 59 となった（前回の男女比 42 対 58）。総合合格率は男性が 11.3%（合格者数 139 人）、女性が 14.4%（合格者数 252 人）であり、総合合格者の男女比は 36 対 64（前回の男女比は 39 対 61）となった。
- 実務経験年数では、②6 年～10 年の申込者が 47 人減少し 1,465 人、総合合格者も 34 人減少して 196 人となった（合格率 13.4%）。合格率が最も高いのは、③11～15 年で 14.1%である（合格者数 68 人、全体の平均合格率は 13.1%）。
- 受験者の居住地域別では、申込者が九州・沖縄では 11 人増加したが、その他の地域では減少し、中国・四国が 28 人、関東・信越が 25 人、近畿が 20 人減少している。総合合格者は、関東・信越が 54 人減少し 147 人（合格率 12.2%）、近畿が 2 人増加し 92 人（同 16.3%）、東海・北陸が 4 人減少し 56 人（同 15.5%）、九州・沖縄が 15 人減少し 38 人（同 10.0%）だった。
- 受検者職種別では、申込者についてキャリアコンサルティングが 70 人減少し 1,109 人、人事・労務・能力開発が 34 人減少し 346 人となり、総合合格者ではキャリアコンサルティングが 45 人減少して 160 人（総合合格率 14.4%）、人事・労務・能力開発が 18 人減少して 40 人（同 11.6%）となった。キャリアコンサルティング実務家の合格率が 14.4%であり、全体よりも 1.3 ポイント高い。

【対策】

- 実技試験の合格率が 1 ポイント以上低下し（16.45%⇒15.27%）、実技試験（論述試験と面接試験）の合格を確実にするためには、しっかりとした受検対策ノウハウをもつ指導機関の指導を受けて、答案の書き方や面談のやり方に関する合格方法論を掴む必要がある。
- 学科試験の合格率が高く、多くの「学科試験一部合格者」がいると思われるが、その人たちは「学科試験免除」の有効期限内に実技試験（論述と面接）合格のための対策を十分にとって、「総合合格」を勝ち取っていただきたい。

以上